

## コモンズの意味を自然と理解している学生たち

みなさん、こんにちは。

6月中旬となりました。5月末に32度を観測し、今年最高の気温となりました。さすがにこの日は「暑い」と口から出てしまうくらいでした。これから日常化するであろう、この単語です。さらに、梅雨入りしました。蒸し暑い雨の日が続くと思うと気分が晴れませんが、この梅雨空にぴったりの花があります。『紫陽花(あじさい)』です。降り続く雨の中であっても、鮮やかな青や紫の色彩を放ちながら木陰でもの静かに咲いています。学内では正門付近に紫陽花が咲いています。ぜひその輝きを感じてみてください。



正門からの通りに咲く紫陽花

コモンズセンターがオープンして2か月が経ちました。多い日には300人を越える利用者がいます。利用形態も様々で、クラブ・サークルの発表や打合せ、資格取得の勉強会や個人での勉強、仲間と共にレポート作成、プロジェクトの議論など、実に多様です。私はどんな使い方をしているか、特に3階のラーニング・コモンズを時々覗いて歩いているのですが、みんなで議論しながら学ぶ、一人で文献をひもとくなど、それぞれの状況に応じた学びを展開している姿が目に見えてきて、大変嬉しく思っています。



先月のメッセージに書きましたが、コモンズセンターは食事や休憩をする場所でも無く、授業をする場所でもありません。コモンズセンターは、以下に示す「コモンズセンター利用ルール(図)」と基本的な公共マナー以外、みなさんの自由な拠点です。



コモンズセンター利用ルール(図)



今回特筆すべきは、利用マナーの良さです。管理運営は学生であるサポーターに任せてありますが、そのサポーターの日報を見ても、「飲食で注意した」や「使ったままで帰った」など、“ダメ”を意味する記述も話も聞きません。また、私も見ることもありません。利用の学生は、コモンズの意味を理解している。その事実喜びを感じています。

気が付いている学生も多いかと思いますが、コモンズセンター内の表記(言葉)は、なるべく“肯定的”な言葉を使う様にお願いしています。人間は言葉を理解してイメージすることができます。日本語は目的語を先に使う特徴があります。例えば、「ミス、するな!」。この「ミス」が先に来るため、ミスをイメージしてしまいます。

『コモンズでは騒いではいけません』。この言葉(文章)から「騒ぐ・ガヤガヤ」をイメージしがちです。これをイメージの世界で翻訳すると、「騒ぐ・ガヤガヤ」が先にイメージされてしまうため、少し大げさですが『コモンズで騒ぎなさい』になってしまう可能性があります。では、どのように表記するのが良いでしょうか？

図をご覧ください。『交流の場でもありますが、お互い声のボリュームに気をつけましょう』としました。では、再度これをイメージの世界で翻訳すると、『コモンズは交流の場。ボリュームは控えめに！』となりませんか？簡単に言うと、“して欲しいこと”を表記することにした。

生活の時間は24時間であり、家庭、通学、授業、部活、アルバイト、娯楽などの時間、そしてコモンズでの時間があります。コモンズでの時間はこういった場で、時間なのか。それは、学生一人一人違うと思います。しかし、コモンズを利用する多くの学生がコモンズでの時間は友達と一緒に議論したり、学び合い、楽しいことも多い反面、それと同じくらい我慢していることも多いと思います。だからこそ、コモンズセンターでは言葉を選び、気持ちよく利用して欲しいと思っています。

最後に、サポーター研修の一つとして、“コモンズ・アカデミア”を開催しました。その内容と共に、次号でサポーターの紹介をしたいと考えています。

今後とも、よろしくお願いします。

コモンズセンター長 伊藤 守弘